



NPO法人 認知症の予防と遅延のための音楽療法研究所



団体
ホームページ

富谷市で活動する市民活動団体を紹介します。第1回目は、NPO法人認知症の予防と遅延のための音楽療法研究所の佐藤里紗さんにお話を伺いました。

どんな活動をしていますか？

認知症に関心のある方を対象に、音楽を使って認知症の予防と遅延の啓発を行っています。音楽カフェの開催やミュージックリンクノートを使った認知症の方とのコミュニティーづくりが日々の活動です。富谷市では、ゆとりすとクラブ・サロン等の介護予防事業や公民館事業を開講しています。

活動のきっかけは？

学生時代に近い人が認知症を発症した時に、何もできずに後悔したことがあり、子どもの時に習っていた音楽を使って役に立つことをしたいと思ったのがきっかけです。子ども時代は、ピアノとマーチングの金管楽器をやっていました。



音楽カフェの様子

認知症予防と音楽の関係は？

音楽の記憶は人間の脳に残りやすいといわれています。音楽がその人に最後まで残っている力であり、記憶、歴史であると思っています。音楽の記憶がきっかけで、思い出が引き出され、笑顔になる、話したくなるというシーンも見かけます。記憶をつなぐきっかけとして音楽の力を借りて、楽しく安心して活動できる認知症予防を行っています。

興味のある方は上記QRコードをご覧ください。

☎090-2799-4247 ※関連記事はP20を参照



代表 佐藤 里紗さん
(成田)

団体概要

名称 NPO法人
認知症の予防と
遅延のための音
楽療法研究所
設立 2015年
構成員 11人